

創立127年 鳳祭 — 生田キャンパスで

「夢∞無限大」11月2日(木)～5日(日)

「夢∞無限大」をテーマに「創立127年鳳祭」が11月2日(木)から5日(日)まで、生田キャンパスで開催される。小野卓実行委員長(商3)は「参加した全員にとって楽しい、良い思い出となるような学園祭にしようと、イベントを企画しました。実行委員一同、多くの皆さんの来場をお待ちしています」と呼びかけている。



▲準備に熱が入る実行委員たち(生田会館で)

鳳祭イベント情報

■11月2日(木)

☆オープニングセレモニー 13時30分～。4号館前特設ステージを出発し、学生約100人がキャンパス～向ヶ丘遊園駅間を仮装パレード。

☆前夜祭「ハジける! ビンゴで喜do哀楽☆」15時～。4号館前特設ステージ(雨天時は528号教室)。「キングオブコメディ」によるコントと学生参加のゲーム。

■11月3日(金)

ゲーム企画「あっぷ だうん あっぷ～3歩上がって2歩下がる」4日も開催。12～17時。生田会館前広場(雨天時は第1体育館ロビー)。実行委員製作のゲームに挑戦。

フリーマーケット&リサイクル企画 4日も開催。1号館前芝生(雨天中止)。

クイズラリー「駆け抜けろ専大～鳳クイズラリー2006～」13時30分～。13時から正門前の本部テントで問題用紙を配布。専大に関するクイズに答えて賞品をGET!

■11月4日(土)

講演「笑いの旋風巻き起こす!! 清水ミチコin専大」12時30分開場、13時開演。528号教室。さまざまな分野で活躍中のタレント・清水ミチコさんが登場。モノマネはもちろん、巧みな話術で会場に“笑いの旋風”を巻き起こす。

バンド企画「響～in my heart～」5日も開催。11時～。図書館分館前ステージ(雨天時114号教室)。4日は学内、5日は学外のバンド計10組が熱演。

■11月5日(日)

ミス専大コンテスト「Grace～清く 気高く 美しく～」10時開場、11時開演。528号教室。従来のサークル代表による形式から変更し、専大生なら誰でも参加OKに。観客投票によって選ばれる「第6代ミス専大」は誰の手に? ゲストはお笑いコンビ「飛石連休」。

★大型企画 — 各サークルが主催する鳳祭の名物企画

AREA STATION(3～5日、3号館前広場)

学生プロレス(5日、第1体育館)

フットサル大会(3～5日、北グラウンド)

この他、国際交流会による屋台(3～5日、3号館横)や、連合県人会の屋台村「チロリン村」(3～5日、正門前駐車場)など多彩なイベントが行われます。

<詳しい情報やお問い合わせは>

◇ホームページ http://suzuka.cool.ne.jp/ohoh_ohori/

◇TEL&FAX 044(900)7830 鳳祭実行委員会

《緑地帯》

親の心子知らず？

大学生の皆さんは、ご両親が皆さんのことをかけがえなく思っておられることにどれほど気がついているだろうか。恥ずかしながら私も「親の心」を子供が生まれて初めて理解できたように思う。

日本人は恥ずかしがりやだから大学生の子供を抱擁したりしないけれど、欧米では両親が大きくなった息子や娘を抱きしめているのを見かける。目にするたびに、日本人は愛情表現が下手だなあ、日本の親たちも大きな子供でも抱きしめたりしてあげれば子供たちはもっと安心できるのに、と思う。

若者の悲しい事件が相次いで報道されている。ご両親も愛情深く育ててきたつもりなのに、なぜ我が子かと思うに違いない。自戒も込めて、日本のお母さんとお父さんの愛情表現が上手になって、子供たちが愛されていることを実感してほしい。でも日本での子育ては大変すぎて、お母さんも抱きしめる余裕などないかもしれない。それは必ずしもお母さんのせいだけではない。仕事で深夜帰りのお父さんや地域の助けも望めないために、閉塞的な子育てに参ってしまうお母さんも多いと聞く。

皆さんに育児の話は早いけれど、ご両親が世界中の誰よりも皆さんのことを大事に思っていることを、いつも心にとめておいてほしい。忙しいご両親でも一緒に暮らしていなくても気持ちは変わらないと思う。ご両親の愛情を思うと、くれぐれも悲しい事件には巻き込まれないでほしい。大学での貴重な時間を多くの先生や友人に囲まれて豊かに過ごしてほしい。(学生部)

《New Ground- 新しい見方〈6〉》

参加してこそ楽しい「鳳祭」

飯泉 直之(商3・ジャーナリズム研究会)

今年もまた、11月の初めに鳳祭が開催される。各サークル、部活動団体が教室を模様替えし、日常活動の成果の発表、模擬店の出店、著名文化人を招待しての講演会やトークショー…などを企画・実行する文化的な催しである。

学生運動の影響が色濃く残っているせいかどうかは知らないけれど、専修大学は6月の黒門祭とあわせて年に2回文化祭がある。私は、大学の文化祭のイメージとして、思想との抗争の舞台といった印象を抱いてはいたが、過去2回鳳祭を見てきた限りでは、そんなことは全く無かった。普通の文化祭である。

時代が時代である現代、そんな特別な文化祭は一部大学を除いて、もうどこにも無いのだろう…イメージ古いし。

仲間と共に、がむしゃらに一つの目標に向かっていくことによって生まれる達成感と共通認識。通っている大学の校舎を外部の人達に開放し、自分たち自身がその校風・特色を改めて自覚する。学校と地域との結び付きを強める相互扶助…といった要素を含んではいるのだが、そう小難しく考えずとも、「祭り」が示す通りに(自主性と常識の範囲でのみ)学生らしく好きだけ仲間とワイワイ盛り上がるイベントなので、ぜひとも参加してはどうだろう。白けた態度でいるよりは積極的な方が何倍も楽しいはずだ。

重要になってくるのはその準備である。準備には当然ながら時間がかかる。10月の半ばからジャーナリズム研究会も、無料でのカンパスマガジンの配布のため記事を書き、模擬店で販売する白玉の用意で日々忙しくしている。鳳祭の成功と、多くの人が白玉を買ってくれることを祈りつつこの原稿を書き終えよう。それでは鳳祭で。



▲昨年の鳳祭=連合県人会企画

第29回多摩区民祭

DTMが出演

生田キャンパスに隣接する生田緑地で第29回多摩区民祭が10月21日(土)に開かれる。今年のテーマは「みどりの多摩区、環境共生のまち」。昨年につき、区内三大学(本学・明治・日本女子)が参加し、パネル展示などを行うほか、学生サークルも舞台出演などで盛り上げる。本学からはDTM(ダンスチーム・ミサキ)が13時から同45分まで出演予定(雨天実施)。

《マンガ》

求職。

(漫画研究同好会・おまか雄 作)

